

国際政治

174

紛争後の国家建設

日本国際政治学会編

序論 「紛争後の国家建設」	武内 進一
国際社会の歴史的展開の視点から見た平和構築と国家建設	篠田 英朗
紛争後の国家建設の死角と国際社会の課題	西川 由紀子
国家建設と非国家主体	古澤 嘉朗
モザンビークにおける民主化の後退と平和構築の課題	船田クラーク さやか
紛争と選挙、アイデンティティの相互連関	酒井 啓子
二元化するイラクの石油産業	吉岡 明子
ボスニア・ヘルツェゴビナにおける所有関係と国家建設	片柳 真理
ローカル・オーナーシップと国際社会による関与の正当性	中内 政貴
同盟と国家建設	岩間 陽子
反乱軍の組織と内戦後の和平期間	大林 一広
<hr/>	
核抑止力の「自立」を巡るウィルソン政権内の相克	小川 健一
<hr/>	
<書評>	
ハーズィム・カンディール著 『兵士、スパイ、政治家』	田所 昌幸
吉田真吾著 『日米同盟の制度化』	楠 綾子
スティーブン・レヴィツキー、ルカン・ウェイ著 『競争的権威主義』	宮地 隆廣

2013年9月刊